



目次

- 年頭のご挨拶・・ 2,3
- 医師紹介（玉野市民病院／玉野三井病院）・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,5
- 新病院建設の進捗状況／玉野市民病院 研究発表会・・・・・・・・ 6
- 学会発表報告（玉野市民病院 看護科）／応募写真のコーナー・・・・・・・・ 7
- ケアマネ研修の講師に行ってきました／介護予防事業 in日比（玉野市民内科）・・・・ 8
- 新しい機器導入のお知らせ（玉野市民病院 臨床検査科）・・・・・・・・ 9
- 地連番外編！！～おかやまマラソンに参加して～・・・・・・・・ 10
- 秋の味覚レシピ（玉野市民病院 栄養科）・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 玉野の歴史めぐり～山城探訪 向日比城跡～・・・・・・・・・・・・ 12
- 山城ツアー開催！～常山城跡・両見山城跡～・・・・・・・・・・・・ 13
- 外来診療担当医表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14,15
- 地域連携だより／編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

年頭の

皆さま、あけましておめでとうございます。令和6年の年頭の挨拶を申し上げます。

今年は、玉野医療センターたまの病院としての新しい建屋が完成するという大きな節目の年です。そして令和7年1月1日には待ちに待った新病院が開院します。玉野三井病院長としては最後の年頭の挨拶となりますが、今までのご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

玉野三井病院は、昭和12年に玉野市玉に開院して以来、地域医療に貢献してまいりました。療養病棟建設や、病床数の134床から110床への縮小、電子カルテの導入など、時代に合わせて変化に対応してきました。しかし、医療の高度化や人口減少などの課題に対応するためには、単独では限界がありました。そこで、玉野市民病院と経営統合することで、より効率的で質の高い医療を提供できるようになりました。

新しい建屋は、玉野市宇野にあります。玉野市玉から少し遠くなることは残念ですが、最新の設備や機能を備えた快適な空間で、患者様や職員の皆様に満足いただけると信じています。また、玉野市民病院と連携して、在宅医療など地域医療の充実に努めてまいります。ご自分での通院が困難となられた方には、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリで対応させていただきます。

玉地区の玉野三井病院としては最後の年ですが、これまで以上に一丸となって頑張っております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

玉野三井病院院長 磯嶋浩二



ご挨拶

新病院の建設工事が順調に進んでおり、令和7年1月からの開業に向けてしっかりと準備を進めているところです。新しい医療機器の導入、患者さん目線での快適な療養環境の提供、IT技術満載のモバイル機器を使った省力化など、楽しいシステム導入が楽しみです。

あ、令和6年の新年なので、まだ新病院開業までちょうど一年ありましたね。お楽しみは先にとっておくことにしますが、生い立ちの違う2病院が晴れて一緒になれる、合併して新しい環境の中でスムーズに業務をこなすことができるようにするためには、しっかりとした準備が必要です。この一年間をその準備期間に充てることとして課題の対策検討をしてみたいと思います。2病院の職員が一体となることでマンパワー不足が改善しますので、信頼される病院としての役割をより一層果たしていければと思っています。

岡山大学病院や岡山市立市民病院のご協力をいただきながら、専門外来の診療も展開していますが、新年度からはさらに専門外来の分野を拡大したいと検討しているところです。専門分野の先生の外来を開設することで大学病院や岡山市、倉敷市の基幹病院に受診しなくても当院の外来受診で必要な診療を継続できるメリットがあるのなら積極的に検討していきたいところです。新しい世代の医師の派遣をいただき、当方といたしましても負けられない気持ちでまだまだ頑張らないと、と刺激をもらっています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

玉野市民病院院長 山原茂裕



医師紹介 玉野市民病院



地方独立行政法人 玉野医療センター
玉野市民病院 リハビリテーション科
箕田 薫(みのだ かおる)

趣味

絵を描くこと、旅をすること。しかしながら、最近はなかなか旅に行けません。そんな中で気に入っているのが、宇野港から眺める備讃瀬戸(びさんせと)の島々です。寒い日が続いていますが、早朝のウォーキング中に見る朝焼けに染まる島々は極めて幻想的です。



回復期リハビリテーション病棟について

回復期リハビリテーション病棟は急性期病院での急性期治療を終え、自宅や社会に戻ってからの生活を少しでも元に近い状態に近づけるためのリハビリテーションを行っています。当院は玉野市内で唯一、回復期リハビリテーション病棟を有します。2006年1月にスタートし、私が2010年5月に着任してから現在まで1986名が入院されています。

●疾患分類別の入院数

疾患分類	件数	割合
運動器	1277	64.3%
呼吸器	6	0.3%
脳血管	702	35.3%
不明	1	0.1%
合計	1986	

患者様へのメッセージ

回復期リハビリテーション病棟では、患者様が一日も早く快適な日常生活を送れるよう、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、看護補助者、医療ソーシャルワーカーといった多職種がチームとなり、医療・看護・介護を行い脳障害、運動麻痺をはじめとする後遺症の回復や日常生活動作の改善・向上を目指しています。厚生労働省によりリハビリを行う時間は1日最大9単位＝3時間(1単位＝20分)まで認められています。

患者様の身体への負担を考慮し、長時間リハビリを続けるのが難しいときは1回のリハビリ時間を20分や40分と短く数回に分け、長時間可能な場合は60分を3回行うなど組み合わせて365日集中的に行います。

医師紹介 玉野三井病院



地方独立行政法人 玉野医療センター
玉野三井病院 内科
筒井 英太(つつい ひでた)

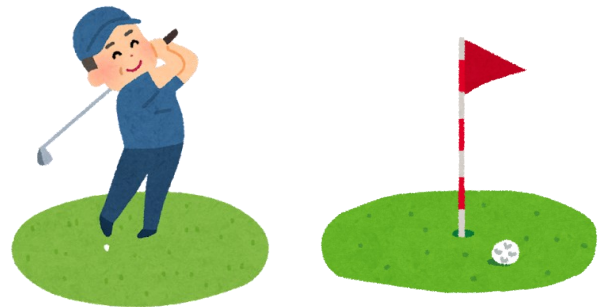
患者様へのメッセージ

健康診断を受けて、血圧が高い、血糖が高い、脂質が高いなどと指摘されているにもかかわらず、放置している方がおられます。また、通院していたが自己判断で中止している方もおられます。自覚症状がないからといってこのような病気を放置すると、将来的に脳卒中、心筋梗塞等さまざまな疾患が誘発されます。健康寿命を延ばすためにも、健康診断で要精査、要治療を指摘されたら、必ず医療機関を受診してください。



趣味

社会人になってから始めたゴルフが趣味で、月2~3回程度ラウンドしています。年齢的に肩、膝、腰が痛くなり、十分な練習もできず、最近はスコアより楽しくラウンドすることに重点を置いています。いつまで続けられるのかわかりませんが、可能な限り楽しみたいと思っています。



マイブーム

最近、電気とガソリンの併用で走行する車を購入し、2日に1回充電しています。最初は充電が面倒でしたが、電気での走行が静かで心地よく、最近は楽しみになっています。ガソリンスタンドに行く回数が4ヶ月に1回程度に減り、電気代も以前に比べてあまり変化なく、大変満足しています。



新病院建設の進捗状況 ～令和5年12月～

建設業者の方から2023年12月21日に届いた最新のドローン写真です。現在、2階の床が出来上がり、3階に向けての柱が建てられているところです。道路からは高いシートに覆われ中の様子が見えませんが、段々と建物のかたちが出来始めています。令和7年1月の開院に向けて、玉野医療センターの職員一同で準備を進めています。新病院建設の進捗状況は今後も随時お伝えしていきます。(作業療法士:中島賢介)



令和5年7月



令和5年12月

玉野市民病院 研究発表会

玉野市民病院 研究発表会を院外会場を使って開催しました

2023年12月8日(金)に第27回玉野市民病院研究発表会を行いました。玉野市立中央公民館での開催は約4年ぶりということもあり、多くの方が参加されました。忙しい業務の中で発表に向けて準備をした研究は、どれもとても興味深く魅力の感じられる内容でありました。会場では活発な議論が交わされることはもちろん、当院らしさを感じられる温かい笑いにも溢れ、大変な盛り上がりを見せていました。年々研究レベルの高まりが感じられ、今後もさらなる進展を遂げられるよう、チーム一丸となって取り組んでいきます。

研究会・院内誌等委員会一同



学会発表報告 玉野市民病院看護科

第43回日本看護科学学会学術集会で発表しました

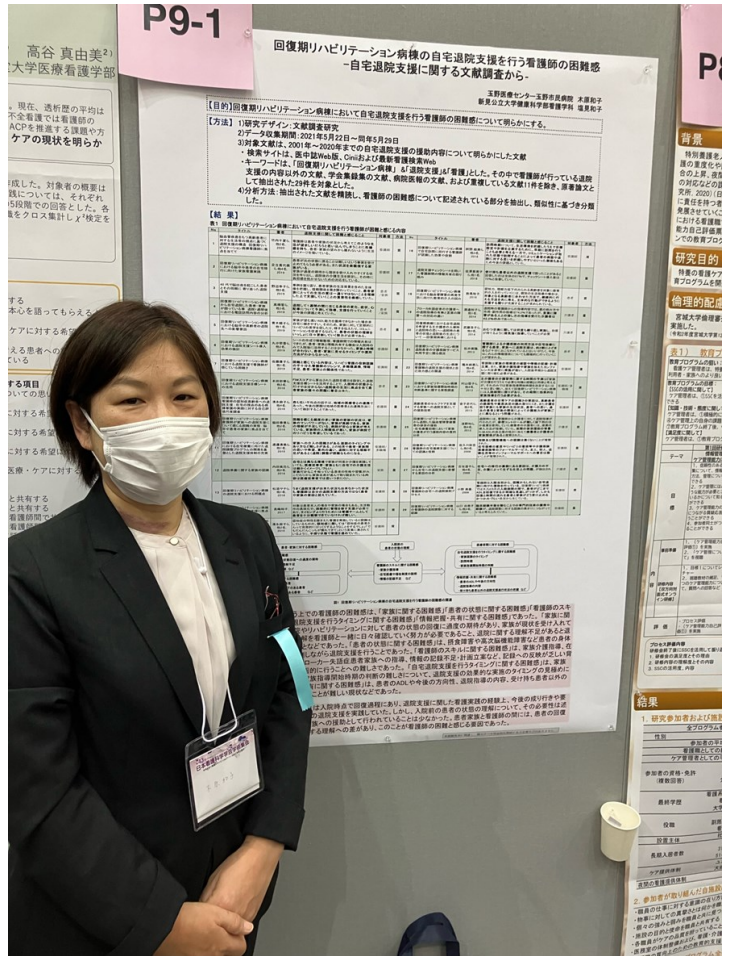
2023年12月9日(土)、10日(日)山口県下関市で開催された第43回日本看護科学学会学術集会においてポスター発表する機会をいただきました。

テーマは「回復期リハビリテーション病棟の自宅退院支援を行う看護師の困難感－自宅退院支援に関する文献調査から－」で、文献調査から、看護実践における看護師の困難感について抽出し報告させていただきました。セッションでは実践者の方からは抽出された困難感に対する共感、教員の方からは学生に退院支援について教えることの難しさなどの感想や退院支援に関して施設など地域との連携の強化の必要性などのご意見、また、研究の方法についての質問など有意義な時間を過ごすことができました。

回復期に関する発表では、看護師のキャリア支援や脳卒中患者の退院支援、地域包括ケアに関する発表では看護師の困難感、高齢者への看護実践などが興味深く、意見交換することができました。今回得られた知見を情報共有し、日々の看護実践に活かし、患者さんへ還元していきたいと思っております。

この日は12月にもかかわらず、山口の最高気温は20℃で、朝から上着もいらなくらいでした。会場では、関門海峡の海のきらめきを見下ろしながら、多くの参加者が熱い意見交換で盛り上がっていました。

(看護師：木原 和子)



応募写真のコーナー



宇野の美しい景色をおさめた素敵な写真をいただいたのでご紹介します。実はこれまでに沢山の写真を送って下さっている方の作品で、当広報誌でも何度も表紙に使わせていただいております。私もこのような写真が撮れたらいいのに！と毎回思っております。今後ともよろしくお願い致します。

(広報編集長：中島 賢介)

ケアマネジャー研修の講師に行ってきました 玉野市民病院リハ科

ケアマネジャー スキルアップ研修会に参加!

2023年10月20日(金)に玉野市社会福祉協議会地域包括支援センターにて、ケアマネジャーさんのスキルアップ研修会(会場・ZOOMのハイブリッド開催)に当院リハビリテーション科の加藤祐規(理学療法士)・中田優也(理学療法士)・栗原千尋(作業療法士)・佐藤大晃(作業療法士)・川尻拓輝(言語聴覚士)の5名が講師として参加しました。

今回は、ケアマネジャーさんが適切なケアマネジメント手法について学ぶ研修会として講師の依頼を受けました。そこで私たちは、脳血管疾患・大腿骨頸部骨折・心疾患・認知症・誤嚥性肺炎の予防についてケアマネジャーさんが利用者さんを支援する上で注目するポイントや各病気の理解を深めるようなお話をリハビリテーション職の視点からさせて頂きました。

今回の研修に参加し、グループワークやいろいろな質問を頂き、多くの学びや気づきを頂きました。今後も玉野市ですごされる皆様に質の高いサービスが提供できるよう、私たちも努力していきます。

(理学療法士：加藤 祐規)



介護予防事業 in日比市民センター 玉野市民病院リハ科

日比・向日比の皆様からたくさんの元気を頂きました!

2023年9月13日(水)、玉野市長寿介護課より作業療法士の派遣依頼を受けて日比市民センターを訪問しました。今回は『要介護にならない日常生活のポイント』というお題を頂き、息抜きのお城クイズを交えながら、認知症予防・フレイル予防を目的とした講話をしたり、日常生活動作の要素と二重課題を用いた集団体操『スカッと体操』等を行いました。終了後の茶話会では、日比・向日比地域を中心にボランティアで介護予防事業に取り組まれる皆様のお話を聞くことができ、私自身がたくさんの元気をいただきました。

今後も玉野地域で生活される皆様が、安心して健康に生活を継続できるよう関わらせていただきたいと思います。

(作業療法士：中島 賢介)

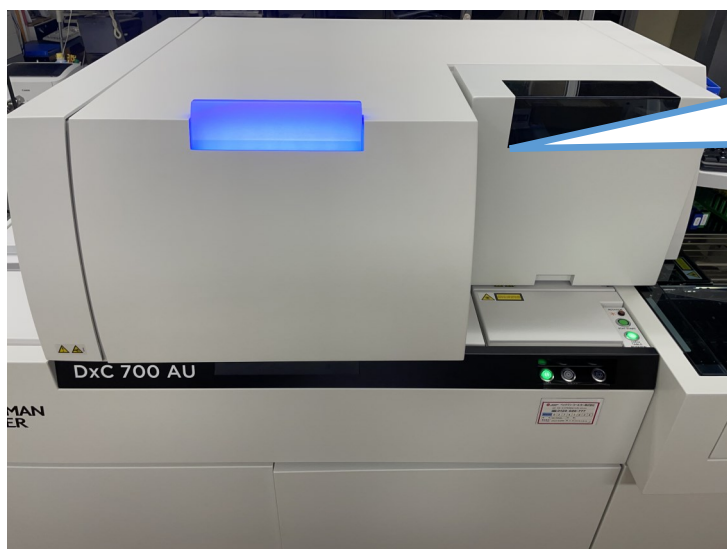


玉野市民病院 臨床検査科からのお知らせ

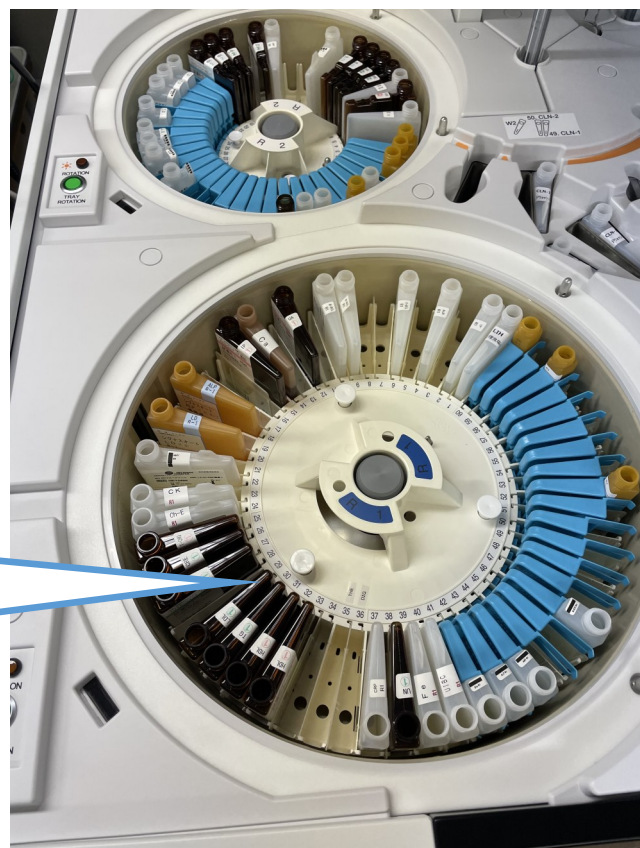
この度、臨床検査科に『DxC AU800』という新しい検査機器が導入されました。この機械は前任のDxC800の新機種にあたり、引き続き患者さんから採取された血液や尿の酵素や、脂質、蛋白などを測定し、医師の診断の手助けを行っていきます。

前の機械と比較して、搭載可能な検体数が増加したことにより、今までよりも多くの患者さんの検体を処理することが可能となりました。また、新病院での検体数増加を懸念し、2台同じものを導入しています。このため、片方の機械が何らかのトラブルや、メンテナンスなどによって測定ができない状況でも、もう片方の機械を運用することで、外来検査、救急検査への影響を最小限に抑え、常に検査を行えるようにしています。

患者さんが実際に機器を見ることはできませんが、代わりに写真を掲載しておきますので、どうぞご覧になってください。

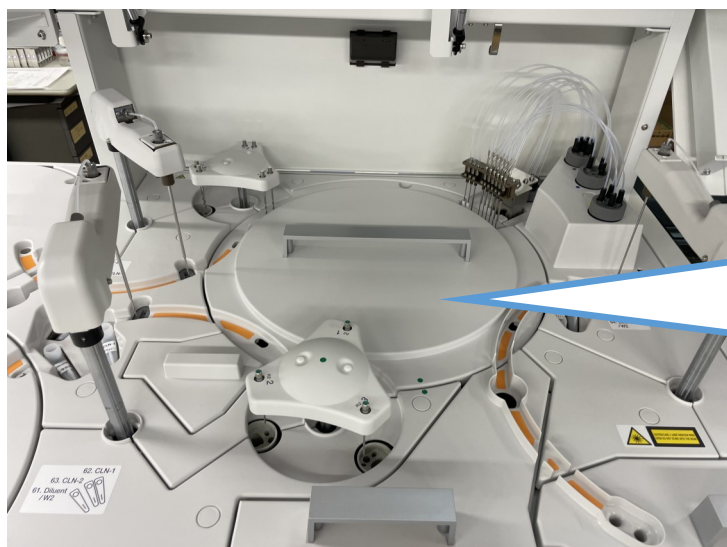


こちらが全体の様子になります。
機器のトラブルの時はランプの色が変化してすぐに対応できるようになっています。



様々な測定項目に沿った試薬が搭載されています。

項目によっては2つの試薬を使って測定する項目もあります。



アームについている細い棒状のものは患者さんの血液や試薬を吸い、機器の内部にある小さな試験管に注入する働きをします。

その注入したものを三角形のものについている棒で混ぜていきます。

地域連携 番外編！！

2023年11月12日(日)おかやまマラソンに参加してきました。毎年のことですが、大会前に当院健診センターの人間ドックで洲脇先生の丁寧なメディカルチェックを受け、練習以外の準備は完璧。マラソン大会などに参加される方、当院の人間ドックを活用されてはいかがでしょう？

玉野市民病院からは山口果奈、平野智の2名が参加しました。今年は2019年と2022年に制限時間の関門に阻まれリタイアとなった方の応援も兼ね、玉野市内の他事業所の方々とご一緒



させていただきました。通常は出走前に写真を撮るのですが、先にゴールした方達で最後の一人まで応援し“全員完走”を目指しました！過去2回リタイアとなった方も、今回は計11個ある関門を制限時間ぎりぎりでも通過していきます。30キロを過ぎたあたりから、ランナーをGPSで捉えるスマホの画面に向かって「頑張れ」「完走いけるぞ」と声を出して応援。結果は5時間56分でゴールと、6時間の制限時間いっぱいでの完走！！

ゴール後に仲間から「ナイスラン」「よく頑張った」「すごいよ」との言葉をかけられて、本人も達成感に満ち溢れていました。どんなに早いタイムで走りきった人よりも、完走を目標とした方のゴールが一番祝福され、まるで世界新記録を樹立したかのような高揚感に包まれました。市民マラソンはタイムを競うだけではなく、それぞれの目標に向かって努力し、達成感や充実感を得ることが大切だと改めて感じました。

洲脇先生と健診センター職員への完走報告と、メディカルチェックを兼ねた来年の人間ドックをお願いし、今年のおかやまマラソンのすべてが終了しました。

今回ご一緒させていただいた特別養護老人ホームすまいる苑の福島宣広さん、ダテ薬局 ダテ・ライフ・ウエルネスの山口達己さん、社会福祉協議会の岩部美代子さん、当院薬剤師の山口果奈さん、本当にお疲れ様でした。

(社会福祉士：平野 智)



ホットひと息



米粉入いれんこんスープ

れんこんの栄養

縁起物として正月料理や精進料理に欠かせない食材です。

淡白な見た目からは想像できないほど、栄養の宝庫で、ビタミンC・カリウム・食物繊維が豊富です。きんぴらは輪切り、煮物は乱切り、すりおろすことでトロツとした食感になり料理のとろみづけなど、切り方や調理・加熱方法でいろいろな食感が楽しめます。

(管理栄養士：濱野 優子)



材料 (2人分)

調理時間
約20分

1人分
186kcal

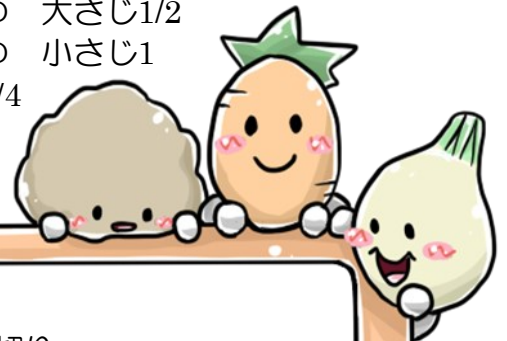
所要摂取量(1日350g)
の1/3がとれる

大根 50g
人参 30g
ごぼう 30g
さつまいも 40g
しめじ 20g
水菜 20g
だし汁 4カップ

<すいとん>

米粉 40g
れんこん 50g
酢 少々
熱湯 15cc

A
薄口しょうゆ 大さじ1/2
濃口しょうゆ 小さじ1
塩 小さじ1/4
砂糖 少々



お好みで
生姜や柚子胡椒を
添えても美味しいです。

身体の中から温めて
寒い冬を
乗り越えましょう！

作り方



①大根と人参は半月に切り、
ごぼうはさがきにして水に浸けてアクを抜く。さつまいもは1cmの厚さの輪切り
しめじは小房に分け、水菜は3cmに切る。



②鍋にだし汁と水菜以外の①の具材を入れ
野菜に火が通ったら<A>を加えて煮込み
火を止める。



③<すいとん>を作る。

れんこんは皮をむいてすりおろし、酢と熱湯を
合わせて混ぜる。米粉を加えて耳たぶくらいの
固さにこね、ひと口大の平らな団子を作る。

④別の鍋に湯を沸かし、団子を茹でる。

⑤②の汁を煮立たせ、団子を加えさっと煮る。
最後に水菜を入れ器に盛る。



第7回 玉野の歴史めぐり ～山城探訪 向日比城跡～

今回は玉野市向日比にある向日比城跡をご紹介します。この城は戦国時代の領主の名から四宮城ともいわれ、地元の人々からは城山と呼ばれているようです。

1. 概要

向日比城跡のある城山は旧児島郡(現玉野市を含む)の最南端にあり、2つの峰を持つラクダのコブのような形をしています。北山頂は標高約85m、南山頂は約70m、鞍部は約50mと低い山に築かれていますが、日比の港から瀬戸内海、さらには香川県までを一望することができます(図2)。



図1：向日比城跡 南曲輪の上空から撮影した北曲輪(手前)と見張り場跡とされる地藏山(奥)

2. 歴史

向日比城の城主は『備前記』には四ノ宮行清、『玉野市史』・『嘉陽家文書』には四宮隠岐守と記されています。四宮隠岐守は讃岐国の阿波三好氏に従属する香西氏の一族でしたが、旧児島郡の細川氏の勢力が衰えると対岸の日比に進出したとされています。本城を向日比城とし、北の地藏山山頂(図1)を見張り所として塁を設け、玉(玉城・嘉陽城)には嘉陽氏を配し東の護りとし、日比の砦には久富氏を置いて西の護りとしたとされています。

1568年、讃岐国の香西宗心は安芸国の毛利氏配下の村上氏が治める本太城(倉敷市児島)を攻めました。本太城は毛利氏が旧児島郡に攻め入るための重要な拠点だったため激しい戦いが行われました。この戦いで四宮隠岐守は香西宗心に従軍しましたが敗北し、香西宗心は討ち死にしました。四宮隠岐守は落ち延びましたが、一族は衰退し帰農したとされています。



図2：向日比城跡 南曲輪からの展望

3. 城郭遺構

2つの山頂には曲輪という平坦なスペースを設けてあり北側は45m×15m、南側は20m×15mの広さがあります(図3)。曲輪の周りは切岸と呼ばれる急峻な崖に加工した跡を残しながらも、それ以外の防御設備は残っていない簡素な造りの城郭遺構です。



図3：向日比城跡 山頂の曲輪内

4. 登城日記

登城口が大変分かりにくいのですが、日比市民センターの介護予防講座で出会った『カフェエがお』と『比咩』のスタッフの方から城跡への行き方を教えていただきました。現地に着くと地元の方が詳しい登り口を教えて下さり、城山公園近くの私有地に車を駐車させていただきました。日比・向日比地区の方々の温かさに感謝しながら山城に向かいました。

さて登山についてですが、藪に覆われた場所が多く道が大変分かりにくいので低山ながら苦戦しました。南側山頂の曲輪には難なく辿り着けたのですが、北側山頂の曲輪への道が見つからず、藪や棘に阻まれた道なき斜面を強引に直登することとなりました。山頂からは瀬戸内海を一望できる絶景が広がっており、登山の疲れも忘れさせてくれました。

5. 参考文献

1)岡山県中世城館跡総合調査報告書 第1冊備前編、2)玉野市史、3)玉野市史 資料編、4)ひびきなだ、5)ひびきなだ 資料編

(作業療法士：中島 賢介)



図4：向日比城跡 港側からの遠望

山城ツアー開催！（常山城跡・両児山城跡）～玉野の歴史めぐり番外編～

歴史めぐりと地域リハビリテーションの融合を目指して

令和5年10月21日に玉野市の山城見学ツアーを開催し、不肖ながら講師を務めさせていただきました。今回の取り組みは私が所属する『備陽史探訪の会』という歴史研究団体の中世支部会の主催で準備を進め、たくさんの方々の協力のもとで実現に至りました。

当日は、山城めぐり経験者(50～70代後半)の参加者様を遠方から8名招き、常山城跡(図2)と両児山城跡(図3)を1日かけて巡りました。山城めぐりの合間には、友林堂や与太郎神社も見学しました。そして、今回はなんと！友林堂の中に入れていただき、玉野市指定文化財の貴重な天井絵(図4)を拝見できました。

見学ツアーでは、備中兵乱の最期の戦いとなった常山城の歴史に触れ、また毛利と宇喜多の激しい戦いの舞台となった両児山城の遺構を体感していただき、玉野の歴史を発信する良い機会を頂けたと思います。参加者の石垣好きの方は常山城跡の石垣に興奮されていました。玉野市で三番目に高い山からの絶景も素晴らしいものでした。また、両児山城跡の圧巻の大横堀や連続竪堀は山城好きにたまらないものだったと思います。

今後、できれば近い将来に、この玉野地域で『解説付きの歴史めぐり』と『地域リハビリテーション』を融合させた取り組みを行うことが、歴史とリハビリテーションが三度の飯より好きな私にとっての長年の目標です。歴史探訪で古きに学びながら、ノルディックウォークや軽いハイキングを行い、心身ともに健康になる取り組みです。玉野市に住む高齢の方から若い方まで幅広い層の人々が、玉野の歴史に興味を持ち、この土地の歴史や文化を大切にしながら、地域の中で健康にいきいきとした生活を継続できるように、微力ながら取り組んで参りたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。

(作業療法士：中島 賢介)



図1:山城見学ツアーの様子



図2:常山城跡の空撮画像



図3:両児山城跡の空撮画像



図4:友林堂の天井絵



●講師プロフィール

全国200城以上(それ以上は数えていません)の城郭を巡り、日本城郭検定1級を取得した歴史愛好家(特に山城・土の城好き)、作業療法士を兼務(手外科領域や地域リハを好む)している異端者。時々山城ドローン撮影、多忙のため山城測量調査見習いは活動休止中。某歴史研究の団体の中世支部会幹事。当院広報誌の編集長を務め、玉野を中心とした歴史記事を連載中。



玉野市民病院 外来診療担当表

(2024年1月5日現在)

診療科		曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科	1 診	午前	《呼吸器外来》 佐藤 利雄	《呼吸器外来》 三宅 俊嗣	重戸 伸幸	山原 茂裕	《糖尿病外来》 三島 康男	
	2 診		三島 康男	深田 耕史	第2・4・5水曜日 三宅 俊嗣	《生活習慣病外来》 三島 康男	三宅 俊嗣	
	3 診		湯川 曜子	重戸 伸幸	《予約外来》 深田 耕史	深田 耕史	佐藤 明香	
	4 診		田村 奈悠	岡崎 悟	岡崎 悟			
	専門外来		山原 茂裕	《腎臓病外来》	《内科・漢方》 植田 圭吾	《肝臓病外来》 第2・4水曜日 狩山 和也	《内科・循環器》 谷山 真規子 (要予約)	《循環器外来》 植木 悠太 (要予約)
					《脳神経内科外来》 第3火曜日 名古屋 章子	《リウマチ・膠原病外来》 第3水曜日 (9:00~12:00) (14:00~16:00) 若林 宏		
	午後 14:00~16:00			《禁煙外来》 三宅 俊嗣 (要予約)				
外科	午前	源 寛二	池田 敏夫	木下 尚弘	源 寛二 池田 敏夫	木下 尚弘		
	午後				田中 真			
整形外科	午前	渡部 邦久	渡部 邦久	鷹取 亮	渡部 邦久	中田 英二		
		《関節外来》 第2月曜日 大森 敏規	《関節外来》 第4火曜日 児玉 有弥		《脊椎外来》 第2木曜日 田中 雅人 第4木曜日 荒瀧 慎也			
小児科	午前	宮原 宏幸	井上 勝	萬木 章 伊藤 周代 (輪番)	福嶋 遥佑	松原 恒則		
	午後	宮原 宏幸 一般診療 14:00~16:30 (予乳は要予約)			福嶋 遥佑 一般診療 14:00~16:30 (第2・3) 15:00~16:30 (予乳は要予約)	松原 恒則 14:00~16:30 予防接種 特殊外来 乳児健診 (要予約)		
泌尿器科	午前	津島 知靖		妹尾 孝司		第1・3・5金曜日 枝村 康平 第2・4金曜日 荒木 元朗		
婦人科	午前		依田 尚之 9:00~16:00		光井 崇 9:00~16:00			
	午後							
耳鼻咽喉科	午前		片岡 祐子					
麻酔科	午前	第3月曜日 《専門外来》 荒川 恭佑 9:00~11:30 完全予約制			《専門外来》 佐藤 健治 10:00~11:30			
人間ドック		岡崎 悟	洲脇 道子	筒井 英太	洲脇 道子	洲脇 道子		

【受付時間】 午前 8:30~11:30
 【診療時間】 午前 9:00~12:00
 ※表中に時間があるものを除く。

〒706-8531 岡山県玉野市宇野2丁目3番1号
 玉野市民病院
 TEL (0863)31-2101 (代表)
 FAX (0863)32-4278
 地域医療連携室
 TEL (0863)31-2252 (直通)
 FAX (0863)32-1950

玉野三井病院 外来診療担当表

(2024年1月1日現在)

診療科		曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	1 診	午前	筒井 英太	佐藤 利雄	《循環器外来》 榊原病院 医師	第1・3・5木曜日 筒井 英太	磯嶋 浩二
	2 診		本多 宣裕	磯嶋 浩二	見元 淳子	本多 宣裕	大賀 律
	3 診		大賀 律	長崎 泰有	大賀 律	越智 宣昭	松浦 宏昌
	1 診	午後	木村 文昭	木村 文昭	木村 文昭	第1・3・5木曜日 磯嶋 浩二	筒井 英太
	2 診		見元 淳子	本多 宣裕	本多 宣裕	第1・3木曜日 緒方 正敏 第2・4木曜日 見元 淳子	大賀 律
	3 診			筒井 英太	大賀 律	筒井 英太	松浦 宏昌
外科		午前	三宅 三喜男	三宅 三喜男	三宅 三喜男	三宅 三喜男	三宅 三喜男
		午後	村主 崇能	大原 利章	村主 崇能	村主 崇能	村主 崇能
整形	1 診	午前	須田 達也	須田 達也	須田 達也	須田 達也	須田 達也
	2 診			小田 孔明			
	1 診	午後	須田 達也		須田 達也	第3木曜日 難波 良文	須田 達也
眼科		午前 (※1)	筒井 康子	筒井 康子	大賀 仁美	筒井 康子	大賀 仁美
		午後	大賀 仁美	筒井 康子	大賀 仁美	筒井 康子	大賀 仁美
耳鼻咽喉科		午後 (※2)	岡大医師	岡大医師		岡大医師	岡大医師
歯科	1 診	午前	正村 博行	正村 博行	正村 博行	正村 博行	正村 博行
	2 診				第1・3・5木曜日 天野 克比古 第2・4木曜日 三上 彩可		寺田 昌稔
	1 診	午後	正村 博行	正村 博行	正村 博行	正村 博行	正村 博行
	2 診				第1・3・5木曜日 天野 克比古 第2・4木曜日 三上 彩可		寺田 昌稔

【受付時間】 午前 8:30~12:30 午後 15:00~17:30
 ※1 眼科 受付時間 午前 8:30~11:30
 ※2 耳鼻咽喉科 受付時間 午後 12:30~16:00
 【診療時間】 午前 9:00~13:00 午後 15:30~18:00

〒706-8531 岡山県玉野市玉3丁目2番1号
 玉野三井病院
 TEL (0863)31-4187 (代表)
 FAX (0863)23-2084

地域連携だより vol.7

《回復期リハビリテーション病棟》

今回は玉野市民病院 回復期リハビリテーション病棟について紹介をさせていただきます。回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの病気で急性期を脱しても、まだ、医学的・社会的・心理的なサポートが必要な患者さんに対して、多くの専門職種がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。この病棟では、疾患別に入院できる期間が定められています。



玉野市民病院 回復期リハビリテーション病棟では月に1度、患者さん、ご家族、関係職種（医師、看護師、リハビリ職員、ソーシャルワーカーなど）が参加してカンファレンスを開催しています。カンファレンスでは現状の報告と退院に向けての課題や要望などを確認しながら、退院に向けての相談をさせていただいています。

また、土・日曜日、祝日を含めた365日毎日のリハビリテーションを実施させていただき、入院後すぐ、寝たきりにならないよう、起きる、歩く、トイレへ行くなどへの積極的な働きかけで改善を図って退院支援を行っています。

回復期リハビリテーション病棟へ入院する対象者は、厚生労働省により疾患などの条件が定められています。まずは、現在かかられている主治医やソーシャルワーカーへご相談ください。

★受付時間 【両病院共通】

平日 8:30～17:15（土日祝日、年末年始はお休み）

基本的にお電話での予約をお願いしております。

相談は無料。相談内容については、秘密を厳守いたします。



玉野市民病院 地域医療連携室

★お問い合わせ先

電話（代表）0863-31-4187

FAX（代表）0863-23-2084

玉野三井病院 総合支援センター

★お問い合わせ先

電話（直通）0863-31-2252

FAX（直通）0863-32-1950

【編集後記】ハーモニー第77号をお読みいただきありがとうございます。今号の表紙も応募写真を掲載させて頂きました。毎回素晴らしい写真を送って下さり大変嬉しいです。今後も引き続き、広報誌ハーモニーでは写真の募集を行っています。皆様のご応募をお待ちしています。

○応募条件:肖像権の掲載許可を得たものでお願いします。応募数に限りはありません。

○お問い合わせ:☎0863-31-4187(玉野三井病院) ○申し込み:kouhou@tamano-mc.jp(メール受付)